

「ほっとルーム」だより



第126号 平成31年2月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL21-5130)

市来小で「おあしす」を開設しました。
2月は、**荒川小**で「おあしす」を開設します。



1月18日(金)に市来小で、「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」を開設しました。お茶を飲みながら子育ての悩みや、お母さんや子どもさんの頑張りなどをお聞きし語りあいました。

2月は荒川小で「おあしす」を開設します。お気軽にお立ち寄りください。



市来小「おあしす」

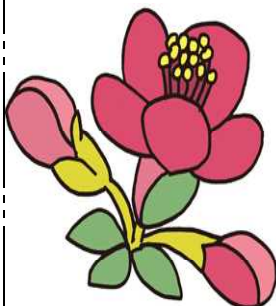
荒川小学校

○ 開設日時 **2月9日(土)** (午前11時~11時40分)

○ 場所 **生活科室**

家庭教育について提言をいただきました。

久木園建設株式会社 代表取締役社長 久木園 学



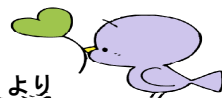
「家庭教育は教育の原点、全ての教育の出発点」と言われています。「日常の生活の中での基本的な生活習慣の確立と躰」が大事と、言葉で言うのは簡単ですが、実際は難しいなあとおつくづく思います。

早寝早起き、あいさつ、身の回りの整理整頓、お手伝いなど、規則正しい生活の中で責任感と自立心を育て、善悪の区別や我慢、思いやりやゆずり合う心を身につけさせる。叱るべき時は叱り、悪いことは悪いと教え、人としての基礎・社会のルールを身につけさせる。家族の団らんを大切にし、子どもの思いを受け止め、夢を語り、良い所は褒めて長所を伸ばす。私にも3人の子どもがいますが、自分はどうだか出来たんだろうと思いながら、義務教育も3月で卒業です。

育児休暇や働き方改革等で、就労環境も変化しつつあります。これからも子ども達や家族と接する時間を増やしてコミュニケーションを取り、笑顔の絶えない家庭にしたいです。

やり直しができること
これが人間とその子どものすばらしさです

広木克行著「子どもは紫の露草」より



子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム：教育委員会 社会教育課内
TEL：21-5130 FAX：36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも**訪問いたします。

アンケートへのご協力 ありがとうございました。



市内全小学校の保護者の皆様に、アンケートをお願いしましたところ、ご多用中にもかかわらず、ご協力をいただき、貴重なご意見をたくさんいただきました。深く感謝申し上げます。今後の取組に活かしていきたいと思います。

アンケート結果の概要は、下記のとおりです。

1 家庭教育に対する悩みについて

- 「悩みをもっている」23%
- 「悩みの内容」は「しつけの悩み」が35%と1番多く、「情報や学習の場」が20%と次に多く「その他」が19%、「親子関係」が15%と続きます。「しつけ」では「子どもとの関わり方」「言葉遣い」「身支度や手伝い」など、多様な悩みがありました。

2 PTAや家庭教育学級への出席状況及び出席できない理由

- PTA・授業参観は、「ほとんど出席」と「時々出席」を合わせると97%の出席があるものの、「PTAのみの出席」が多い。「ほとんど出席できない」が、3%あります。
- 出席できなかった理由としては、「開催日」が33%、「開催時間」が29%。その他の理由では、「仕事のため」が多く、「未就学児がいるため」等があります。

3 周り(地域や保護者同士)との関わりについて

- 多くの人が「ある」と回答
「関わりがない」という回答は8%

4 「ほっとルーム」だよりについて

- 「毎号読む」と「時々読む」を合わせると93%の保護者に読んでもらっています。
- 「子どもへの声かけなどの参考になっています」「地域の情報だけでなく、子育てのヒントになることも書いてあって、毎号楽しみにしています」「提言はとても参考になった。これからは子育てを一段落された先輩の話を聴いてみたいと思います」等の意見がありました。
- 「読まない」は、6%で、「時間がない」「興味がない」等がありました。

5 長子家庭の訪問について

- 88%の保護者が「良い取組だ」という意見でした。その他では「希望者のみでよい」や「長子以外もあって良いと思う」等の意見がありました。

6 「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」について

- 94%の人が、「良い」という回答で「すごく良い取組なのですが、なかなか行きづらい」等の意見がありました。
- 「その他」では、「悩みが深すぎて話せない」等がありました。

○ 子育てや家庭教育についての悩みをもつ方が23%(185名)いらっしゃいます。長子家庭訪問や「おあしす」、電話相談や来室相談でお受けしています。また、悩みについては、「子育てアドバイス」で取り上げるようにしています。

○ 1・2年生長子家庭訪問は、「話したい事があっても、なかなか自分から言いづらい」というご家庭もありますので、今後も、1年生の全長子家庭を訪問をさせていただきたいと思ひます。ご希望があれば、長子家庭に限らず、どの学年でも訪問いたしますので、希望日時をお知らせください。また、子育て等で頑張っている様子もお聴きしたいです。

○ 「おあしす」は、希望者ですが、入りやすい雰囲気づくりに工夫し、深刻な悩みの方は、別席を設けるなどの工夫をしています。

○ 今後も引き続き、商工会議所や商工会、青年会議所や各事業所へ「ほっとルーム」だよりをお届けしたり、提言を頂いたりする中で、働いていらっしゃる子育て中の保護者の皆様への支援をお願いしていきます。